

高総体空手道競技における感染防止対策

岩手県高体連空手道専門部

本対策は、選手、関係者の感染防止に最大限努めるとともに、他校との交流を通し、相互理解を深め、選手各々の意識高揚を図り、安心した大会を開催できるよう、下記のように感染予防対策を講じるものである。

1 大会会場への入場者の制限について

岩手県高等学校体育連盟の要請により、アリーナ（競技会場）・観客席・役員控室などの大会関係会場への入場は、「選手」「監督」「学校公認コーチ」（プログラム掲載者）「審判員」「大会役員」「競技役員」のみとする。

万が一、父母や各校関係者が入場したときには、各校顧問の責任で会場から退去してもらう。

2 参加者の健康チェックについて

各高校においては、「**大会参加者健康状態申告書**」（別紙1）を選手・コーチ・顧問の分をまとめて記入し大会期間中、毎日大会事務局へ提出すること。体温が平熱を越える場合（おおむね、37.5℃以上）や、大会2週間前から健康状態に異常がある者は、大会会場に入場させないこと。

役員・審判員に対しても「**大会参加に関する確認書**」（別紙2）を大会初日に提出してもらい、毎朝事務局で体温・体調チェックを行い、選手同様、体温が平熱を越える場合（おおむね、37.5℃を以上）や、大会2週間前から健康状態に異常がある者は大会会場に入場させない。

3 競技について

- ・審判員は、全国高体連空手道専門部より指示のあった、フェイスシールドまたはマスクを着用して審判業務にあたる。
- ・形競技は、通常通り「形名の発声」「気合い」を出すこととする。
- ・組手競技は、全国高体連空手道専門部より指示のあった、フェイスガードをメンホーに貼付して飛沫の拡散を防ぐ。
- ・競技全般について、安全具・ペットボトル・タオルなどの貸し借りを極力行わないこと。
- ・監督・コーチについては、常にフェイスシールドまたはマスクを着用し感染予防に努めることとする。選手への指示も大声にならないように注意すること。
- ・大会役員、競技役員、補助員は常にマスクまたはフェイスシールドを着用すること。

4 全般について

- ・アリーナ入口、観客席入口にアルコール消毒を常備するので、それぞれ入場する場合には、必ず消毒を行うこと。
- ・選手は、アリーナ（競技場・練習場）ではマスクを外して練習や競技を行ってよいが、それ以外の場所では必ずマスクを着用し感染予防に努めること。また、出来るだけ密集をさけること。
- ・観客席での観戦スペースは特に制限しないが、出来るだけ三密をさけるなどソーシャルディスタンスの確保すること。
- ・飲食をする場合には、容器の共有を避け、ゴミの持ち帰りは各自（各校）で行うこと。